

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272400425		
法人名	社会福祉法人峰寿会		
事業所名	グループホームゆりの家		
所在地 (電話番号)	〒037-0202 青森県五所川原市金木町字芦野200番地242 (電話) 0173-54-1391		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月29日	評価確定日	平成21年12月20日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 11月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤	19人, 非常勤 人, 常勤換算 19人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 780 円			

### (4) 利用者の概要( 9月 30日現在)

利用者人数	26 名	男性	8 名	女性	18 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	7 名	要介護4	5 名		
要介護5	名		要支援2	1 名	
年齢	平均 81 歳	最低	64 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立金木病院、今歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

津軽の名所、芦野公園のすぐ裏に位置し、春には桜、秋には紅葉が楽しめる自然いっぱいの環境である。事業所の畑では利用者の方が野菜作りを行っている。お風呂は天然温泉の為にいつでも入浴する事ができ楽しみの一つとなっている。事業所の周りには法人の老人保健施設、訪問介護、訪問看護ステーションが併設され、利用者の重度化や緊急時等安心できる体制がとられている。そして理念には「一人ひとり心が通じ安心できる家」を掲げ、管理者、職員は常に利用者が一番に考え、日々前向きに取り組んでいる。
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である資料や勉強会の記録の整理に関しては、整理して見やすい所に置き、職員誰でも閲覧出来るようにした。又、理念に関しては、職員で話し合い昨年同様地域という言葉は盛り込まれていないが、利用者が、事業所で生活していても、安心して地域との絆が継続出来るように、一人ひとりのニーズに沿った支援がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を管理者、職員で話し合い作成することで、日々の業務の見直しができ、サービスの質の向上に繋がっている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回民生委員、町内会の方、市職員、家族等が参加し、定期的に行われている。会議では、利用者の方々の生活状況や行事、外部評価等についての報告をしている。又、参加者からは積極的な意見やアドバイスを頂き、サービスの質の向上へ繋がられるよう取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	昨年意見、要望箱がほとんど活用されていない為一度撤去したが、家族の要望で再度玄関に設置し、意見、要望が出しやすいように配慮している。又、家族の中には面会時に直接職員に伝えてくれることもあり、迅速に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事や文化祭へ参加し、出展もしている。又、近隣の小学校からの体験学習も受け入れるなど交流を深めている。しかし、災害時地域の協力体制が出来ていない為今まで以上に事業所を知って頂けるよう、事業所側から町内会の会合へ参加する等積極的なアピールを期待したい。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い「一人ひとり心が通じ安心できる家」という理念を掲げ、地域との関わりが継続出来るよう支援されているが、文章の中に地域密着型サービスが盛り込まれていない為検討している。		地域密着ということでは、サービスの中に取り入れられている為、文章として表現してはいかがか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有し、利用者の希望があれば、一緒に自宅へ行き、野菜作りや屋根の雪降ろしを行う等安心して暮らせるよう、日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の行事には積極的に参加している。小、中、高校生の福祉体験を受け入れ、認知症の理解を求めている。又、町内会に入会しており、今後は定期会合へも参加していく予定である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価については、管理者と職員とで評価、検討し、改善に向けて取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は2ヶ月に1回定期的に開催している。会議では、利用者の生活状況や行事、地域の方たちとの交流等が話され、委員からはアドバイスや積極的な意見を頂き、サービスの向上へ繋げている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者とは、連携や相談、報告、調整等色々協議できるようになっている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	2年程前外部講師を招いて法人全体の研修会が行われ、学ぶ機会を持っている。		今後のことを考えると、資料を準備する等必要な人には活用できるように、職員が理解し、支援できるようにしておく事が望まれる。
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は職員に日々虐待防止に関して説明と指導を行っている。職員も理解しており、定期的にご利用者のボディチェックを行い、早期発見と防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時家族、利用者に不安のないように十分説明して、納得して頂いている。3ヶ月以上の入院になっても、受け入れてくれる為利用者、家族は安心して治療に専念できている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>生活状況、状態の変化については、面会時と電話での報告を行っている。金銭出納帳に関しては2～3ヶ月に1回定期的に郵送して確認して頂いている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>以前設置していた意見箱を一度撤去したが、家族の希望にて再度設置し、意見、要望が出しやすいように配慮されている。又、面会時に家族から直接、要望が出された時は迅速に対応している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ここ2～3年位退職者はほとんどなく、職員が定着している為利用者との馴染みの関係ができています。又、法人内での人事異動に関しては、同じ敷地内で行き来できる距離の為、声掛け等によりダメージを防ぐ配慮をしています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時の研修や、段階に応じた研修、資格取得の為に勉強会等を行い、人材育成に取り組んでいる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に入会して定期研修会へ参加し、情報を共有しながらサービスの質の向上に努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に必ず、面接と事業所の見学をして頂いている。又、情報収集を行い(居室をトイレの近くにする等)安心して入居出来るように配慮されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から津軽弁を学んだり、野菜作りや魚の捌き方等色々な事を学び、共に支え合う、良い関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の生活リズム、性格等その場面場面で確認して、把握するようにしている。又、センター方式のアセスメントを行い、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族、介護支援専門員、職員で話し合い、日々の生活への思いを汲み取り、利用者本位の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しと毎月モニタリングを行い、状態変化に応じた、介護計画が作成されている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じて、自宅へ畑作りに行ったり、突発的な外出時の車使用に関して、併設の老人保健施設の協力を得ながら、柔軟な支援をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が希望するかかりつけ医への受診を支援している。青森市や弘前市、秋田市の病院へ付き添ったこともあり、利用者のニーズに対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携指針の中で重度化した場合や終末期に関して、家族、かかりつけ医等の話し合いがされており、方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	市の指導で各居室の表札を取り除いている。個人情報の取り扱いについては、職員全員で勉強会を行っている。		1号館は玄関にノートの面会簿を置いている。他者の目に触れることも考えられる為個人情報を守ることにおいて、検討する事が望まれる。
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせて、ゆったりとした暮らしぶりが見られる。それぞれの希望に沿って支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員は一緒に食事を摂っていないが、側について見守り、介助しながら会話をもち、食事を楽めるように配慮されている。食事の準備、後片付けは一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽めるように支援している</p>	<p>週3回の入浴で入浴時間は決めておらず自由に入浴出来る。温泉浴の為希望により朝6時頃から入浴を楽しんでいる利用者もいる。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除や食事の準備、片付け、大工仕事(修理)食材の買い出し等楽しみごとや、気晴らしを持てるように支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>レクリエーションの大半が散歩であり、事業所のすぐ裏に公園があるので、春は桜、秋は紅葉と希望に沿って外出できるように支援されている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が勉強会で周知しており、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間のみ施錠をしている。利用者の無断外出防止の為に各扉にはセンサーを取り付ける等の工夫をし、行動制限にならないように配慮されている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。地域の方々へ協力が得られるように働きかけはしているが、実際には協力が得られない状況である。</p>		<p>定期的に運営推進会議で取り上げ、地区の消防署や、消防団員等一人か二人でも災害時の協力をお願いできるような体制作りが望まれる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養、水分の摂取については、日々記録にてチェックされている。献立は併設の老人保健施設の栄養士が作成しており、栄養バランスのとれた食事を摂っている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症についてのマニュアルは整備されており、せき、手洗いの徹底等対応の取り決めがされている。利用者、職員とも全員インフルエンザの予防接種を受けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には、食卓テーブルやソファーが置かれ、手作りの装飾品も飾られ、家庭的雰囲気の中で生活されている。しかし、1号館のフロアーが玄関を入ってすぐ見渡せるようになっている。</p>		<p>1号館のフロアについて居心地良く過ごせるように、改善の検討が望まれる。又、湿度計のない所へは、利用者の健康管理の為に補完されることが望まれる。</p>
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は広く、利用者の中には使い慣れたタンスを持って来ている方もおり、安心して生活出来るよう配慮されている。しかし、居室のカーテンについては、各家族が準備することになっているとのことであるが、カーテンのない居室がほとんどである。</p>		<p>日差しを避けたり保温の為又居心地良く落ち着いて過ごせるということを配慮し、カーテンの必要性についての検討が望まれる。</p>

 は、重点項目。